



小学生の保護者の皆様へ

小学校版

# Let's study

～北区の子ども 家庭学習のすすめ～

「小学校版 Let's study ～北区の子ども 家庭学習のすすめ～」は、家庭での学習習慣づくりのために保護者がどのように関わるとよいかをまとめたものです。また、家庭で取り組める学習内容や学習時間のめやすのほか、家庭で大切にしたいポイント等をまとめています。

家庭での学習習慣の形成のために役立っていただき、子どもへの学習支援の参考としてご活用いただければ幸いです。

※ 義務教育学校（前期課程1学年～6学年）については以下の内容を読み替えるものとします。



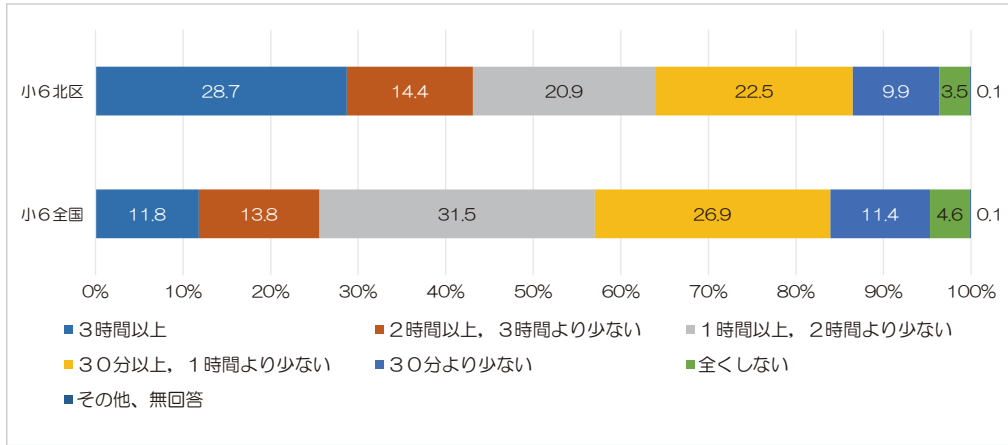
令和6年3月

北区教育委員会

# 北区立小学校 6 年生の家庭学習の状況

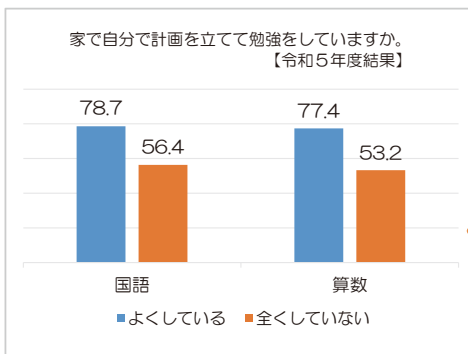
全国学力・学習状況調査の結果より

■学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、一日当たりどれくらいの時間勉強しますか。【令和5年度結果】

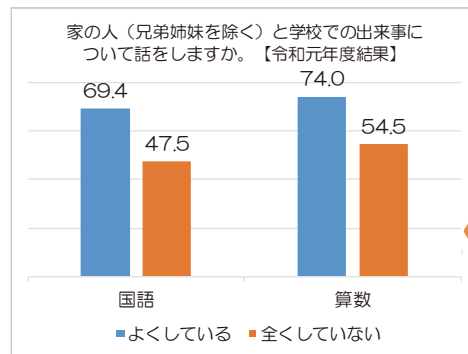


平日、学校の授業時間以外で、勉強に取り組んでいる北区の児童は、全国に比べて多くなっています。

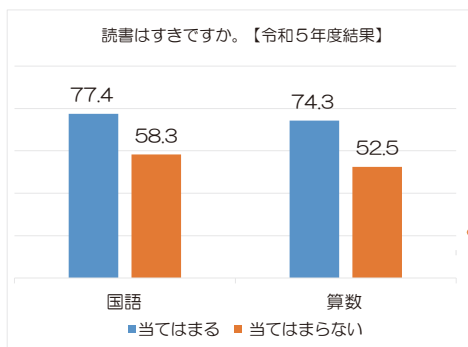
■家庭学習、家族とのコミュニケーション、読書と平均正答率との関係



自分で計画的に勉強をする児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。



家で学校のことを話している児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。



読書が好きな児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られます。



- 家庭学習の時間や内容を自ら考えて取り組むようにすることが望まれます。
- 家族との触れ合いは子どもの心の安定と深く関わっていることから、家庭では子どもと向き合う時間を少しでも多くつくり出すようにしたいものです。

小学校低学年

1・2年生

## 〈目指したい学習習慣〉 基本的な学習習慣づくり

家庭学習時間の目安

1年生 20分 2年生 30分

### この時期の特徴

1・2年生は、何でも知りたがり、好奇心が旺盛です。しかし、一人で学習することや学習方法を決めることはまだ難しいので、家庭の協力が欠かせません。基本的な学習習慣を身に付けさせるために、できるだけ一緒に取り組み、できたことをほめて励ましましょう。

### 家庭で大切にしたいこと

#### 基本的な生活習慣を 身に付けさせましょう

家庭であいさつを交わすようにしましょう。また、早起き・早寝をさせ、朝食をきちんと食べさせて生活リズムを整えましょう。

#### 読書環境を整えましょう

読書は豊かな心と学習の基礎である読解力を育みます。読み聞かせや親子で本を読む機会をもつようにしましょう。

#### 家庭と学校との連携を 意識しましょう

学校からの連絡や、お便りを一緒に確かめましょう。一緒に連絡帳を確認するだけでも子どもはとても安心します。

### まずはできることから

#### 漢字

書き順に気を付けて、丁寧にゆっくり書かせましょう。

#### 読書

読み聞かせをしましょう。また、本を身近に置きましょう。

#### 音読

楽しんで、すらすら読めるように毎日練習させましょう。

#### 計算

まずは正しく計算させるようにしましょう。楽しみながら計算に慣れるようにさせたいものです。「きたコン」のドリル教材で学習内容を復習することもできます。

#### 日記

楽しかったことやうれしかったことなどを、自分の言葉で順序を意識して書くようにアドバイスしましょう。



小学校中学年

3・4年生

## 〈目指したい学習習慣〉

### 自ら進んで取り組む学習習慣づくり

家庭学習時間の目安

3年生 40分

4年生 50分

#### この時期の特徴

3・4年生は、いろいろなことに興味をもち、行動の範囲が広がり、自立心が芽生えます。仲間をつくって活発に活動するようになりますが、自ら進んで取り組む家庭学習の習慣を身に付けるには、まだ家庭のサポートが必要です。家族の温かい助言や励ましの言葉がやる気を起こさせます。

#### 家庭で大切にしたいこと

##### 規則正しい生活を

##### させましょう

テレビやゲームの時間を決めるなど、家庭で話し合ってルールを決め、規則正しい生活を送るようにさせましょう。

##### 学習意欲を高める

##### 関わりをもちましょう

子どもとの触れ合いを大切にし、子どものやる気を見逃さず、ほめたり励ましたりしながら学習意欲を高めていきましょう。

##### 家庭と学校との連携を

##### 意識しましょう

学校からのお便りを家族に確実に渡す習慣を付けさせましょう。手渡しやお便りを置く場所を決めるなど、各家庭で工夫しましょう。

##### 漢字

新しく習った漢字をノートに10回ずつ書くなど、繰り返し練習させましょう。覚えた漢字は、「きたコン」のドリル教材で確認しましょう。

##### まずはできることから

##### 計算

一緒に買い物に行った時、「おつりはいくらかな？」などと生活と結び付けて考えさせましょう。

##### 読書や新聞

図書館で読書するなどしましょう。毎日、新聞を読む時間をつくりましょう。

##### 音読

毎日、音読に取り組ませましょう。会話文は気持ちを込めて読ませましょう。

##### 社会

地図を開いて、北区の場所を探すなどし、地図に興味をもたせましょう。



小学校高学年

5・6年生

## 〈目指したい学習習慣〉

### 計画を立て、自学する学習習慣づくり

家庭学習時間の目安

5年生

60分

6年生

70分

#### この時期の特徴

5・6年生は、自分を客観的に見つめ、周囲に対して自分の考えを主張するようになります。学習では、ものごとを論理的に考えることができるようになります。また、自分が大切にされているかなど、周りの評価が気になるようになります。

#### 家庭で大切にしたいこと

##### 時間を大切にする

##### 意識を育てましょう

寝起きや食事の時間など、時間を意識することで計画性が養われます。家庭で学習する時間を決め、予定を立てて学習ができているか見直しましょう。

##### 社会への興味・関心を

##### もたせましょう

将来のことや社会の出来事について子どもがどのような思いや考えをもっているか、話を聞いてみましょう。

##### 家庭と学校との連携を

##### 意識しましょう

家庭ごとの生活スタイルに合わせながら、できるだけ、家庭で子どもの話をよく聞くようにし、担任の先生とも情報交換をしましょう。

##### 漢字

新聞記事の中から、習った漢字をノートに書くなどして、漢字が生活に結び付いていることを実感させましょう。

#### まずはできることから

##### 算数

教科書の問題をもう一度、ノートに書いて解いてみましょう。

##### 読書や新聞

国語の授業で勉強した作者の他の作品を読むようにさせましょう。毎日、新聞を読ませ、身近な社会事象に興味・関心をもたせましょう。

##### 社会

「歴史上の人物で知っている人は誰？どんなことをした人なのかな？」などと声掛けをし、歴史への興味・関心をもたせましょう。

##### 音読

間を取りながら読むなど、自分のめあてを決めて練習させましょう。また、他教科の教科書を音読すると、重要な用語や内容を理解できるようになります。

##### 調べ学習

「きたコン」を使って、学習内容を調べ、理解を深めましょう。



# 家庭学習を習慣化させるためのポイント

下に示した**4つのポイント**は、家庭学習の習慣を身に付けることはもとより、子どもの健やかな成長のためにも大切な基礎の部分です。お子さんが低学年のうちには、生活のリズムを整えることを中心にサポートし、学年が上がるにつれて、学習の計画を立てて実行できるようにするなど、自主性を伸ばしていきましょう。



## 生活のリズムを整える

○規則正しい生活リズムが日々の子どもの生活を整え、家庭学習の習慣化につながります。早起き・早寝をする、朝食をきちんと食べる、テレビやゲーム、携帯電話、スマートフォンの時間を決めましょう。

## 努力を認め励ます

○一つのことを継続して取り組ませたり、少し難しいことに挑戦させたりして、やり遂げることの喜びを体験させましょう。  
○子どもの学習に目を向け、必要な声掛けや点検を行い、粘り強い努力を本気でほめましょう。

## 読書する時間をつくる

○読書は、子どもの感性を磨き、知識や思考の源となります。まずは、家庭での読書や読み聞かせをしましょう。  
○地域の図書館等に行き、本との出会いをつくりましょう。

## 学ぶ雰囲気をつくる

○家族で過ごす時間を大切にし、子どもの話をしっかり聞きましょう。  
○ニュースなどを話題にして、社会への関心を広げましょう。

## ☆チェック☆

お子さんの生活をご存じですか。チェックしてみましょう。

- お子さんの好きな教科、苦手な教科を知っている。
- お子さんの教科書を見たことがある。
- お子さんの担任の先生の名前や組を知っている。
- お子さんの仲のよい友達を知っている。
- お子さんが通う学校の学校行事の日を知っている。
- お子さんがよく見るテレビ番組やゲームをする時間を知っている。
- お子さんが今持っているお金の金額を知っている。
- 家族全員で、週2回は食卓を囲んで話をしている。
- 社会の動き（ニュース）について話し合うことがある。
- 自分の生き方や仕事の内容について話したことがある。



刊行物登録番号 5-3-041